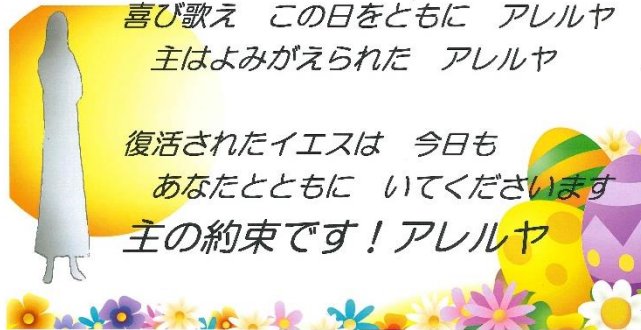


お告げのマリア修道会 まごころ会

発行：お告げの
マリア修道会
2022年5月
Tel.095-846-8300

『わたしは主のはしためです。
お言葉どおり、この身になりますように。』

主のご復活 おめでとうございます!



喜び歌え この日とともに アレルヤ
主はよみがえられた アレルヤ

復活されたイエスは 今日
あなたとともに いただきます
主の約束です! アレルヤ

お告げのマリア修道会本部の掲示板から

4月 定例院長会が行われました。

今年度も、同じ心で歩んでいけるように院長会が行なわれ、様々な方面から学びを深め、院長としての役割を確認いたしました。共同体が院長様を中心にとまり、良い福音宣教ができるように励みたいと思います。続けてお祈りください。

まごころ会会員帰天、お祈りください

- ・ヨゼフ 岩崎保司 紐差教会
- ・アグネス 市山マサ子 鯛の浦教会
- ・カタリナ 大浦タツエ 福見教会
- ・マタイ 下崎 薫 桐教会
- ・マリア 小島ウキ 青砂ヶ浦教会
- ・ミカエル 尾上辰男 青砂ヶ浦教会
- ・ペトロ 松山顕一 青砂ヶ浦教会
- ・アンジェラ 宮崎イセ 神の島教会
- ・アグネス 鳥辺ウメ子 神の島教会

「私を忘れるな」

聖木曜日の典礼では、ミサが終わる前にご聖体を仮の聖櫃に移します。私たちはご聖体の前で祈る時間を大切にしています。今年はこの時間の中で菊池大司教様の説教を黙想しました。一部を抜粋して紹介します。



最期の晩餐でのできごとは、弟子たちの証しに始まって、今に至るまで連続と引き継がれ、それを受けた私たちは、さらに将来へと伝えていく義務があります。聖体祭儀に与るたびに「私の記念としてこのように行いなさい」と言われたイエス様の言葉が、その切々たる思いと共に私たちの心に響き渡ります。今宵、最後の晩餐を記念しながら、主が語り行われたこと、その祈り、そして愛に満ちた生き方をあらためて思い起こしましょう。同時に、自分自身が受け継いだその事実を次の世代へと引き継いでいく役割があるのだという自覚を新たにいたしましょう。教会は「私の記念としてこのように行いなさい」と言う主の言葉に従い、主が語り行われたことを宣べ伝え、主が祈られたように神に向かつて祈り、主が教えたように愛の奉仕を實踐していきます。愛する弟子たちとの別れが迫る中で、万感の思いを込めてそう述べられた主イエスは「私を忘れるな」と弟子たちに命じたのではないのでしょうか。聖体の秘跡がミサの中で繰り返し捧げられることに、そこには「私を忘れるな」という主の思いが響き渡ります。その響き渡る主の声を、むなしに響きにわたらせないためにも、主の思いを受け継いで次へ繋いでいく共同体が必要です。主イエスの言葉を受け継いで、社会のただなかにあって、主が語り行われたこと、その祈り、そして愛に満ちた生き方を証していく務めは、教会の共同体に与えられた使命です。困難な時期だからこそ、思いやりと配慮の心を持って互いに支えあい、言葉と行いを通じて「神との親密な交わりと全人類一致の証し、道具」でありましょう。

